

平成26年度 公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団事業計画

I 基本方針

公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団は、鎌倉地域の芸術文化の向上と振興、創造的な芸術文化活動の育成支援、国内外の優れた芸術文化の紹介を使命として運営しています。

平成26年度も、前年度に引き続き、鎌倉文学館、鏑木清方記念美術館の二つの文化施設の指定管理の着実な運営管理を行い、さらに鎌倉文学館については、第三期指定管理期間の応募に向けて万全の準備をすすめます。

また、伝統芸能観賞会や鎌倉芸術祭などを始めとする財団独自の事業を、自主公演、実行委員会形式、共催形式など様々な方法で、市内の社寺や文化施設を中心に、市民や市内各団体と協同、連携しながら実施していきます。

鎌倉市との芸術文化活動における役割分担を検討し、鎌倉市とともに鎌倉地域全体の芸術文化の向上と振興、地域の芸術文化ネットワークの構築を目指していきます。

II 事業内容（概要）

1 本部 総務課

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

鎌倉生涯学習センターを中心に、鎌倉市内すべてを芸術文化活動の場にとらえ、新たな事業の創出に向かって、本年度は、次のような事業等を試みていきます。

事業内容	開催予定時期等	場所	備考
映画鑑賞会（鎌倉名画座）	3月	学習センター	映画解説とともに
音楽鑑賞会	12月	学習センター	ピアノ、弦楽、邦楽等
伝統芸能鑑賞会	7月・10月	鎌倉芸術館 小ホール	鎌倉はなし会「立川志らく独演会」他
芸術文化講座	随時	学習センター ほか	芸術文化講演等
アウトリーチ事業 (芸術文化普及事業)	随時	寺社等の身近な場所	子どもや大人が身近な場所で鑑賞きるコンサート等
鎌倉俳句&ハイク	通年	市内各所	投句の募集・選考・表彰
鎌倉芸術祭の取り組み	9月～11月	寺社教会	鎌倉芸術祭実行委員会との連携・協力
小泉淳作記念日本画公募展	11月～12月	建長寺	第2回
鎌倉市民文化祭への協力検討	9月～11月	鎌倉芸術館	鎌倉市、鎌倉市民文化祭企画運営委員会

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

2 鎌倉文学館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供事業

① 展示事業

鎌倉文学館の所蔵品をはじめとし、広くゆかりの文学者と文学を紹介するため、常設展と特別展及び収蔵品展を実施します。常設展は鎌倉ゆかりの文学を紹介します。特別展は春は近代における愛をテーマに夏目漱石、太宰治らの恋愛小説を紹介、夏は市内在住の絵本作家西巻茅子氏の協力により子ども向けの展覧会を開催します。秋は、山梨県立文学館の協力により生誕 100 年を迎える歌人の山崎方代を紹介します。収蔵品展は、実業家で歌人の内山英保コレクションを中心に冬柏山房に集った与謝野寛、晶子らの文学者を紹介します。

常設展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
<常設展> 「鎌倉ゆかりの文学」 ※年4回展示替え	4月1日～平成27年3月31日 ※特別展・収蔵品展と同時開催	
特集展示 生誕120年「小牧近江」	春	
特集展示 生誕120年「菅原通斎」	夏	
特集展示 「吉屋信子と鎌倉」	秋	
特集展示 没後130年「荻原井泉水」	冬	
ミニ展示「鎌倉を舞台にした作品」 ※年4回展示替え	4月1日～平成27年3月31日	

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 303日

特別展示室 事業名	開催予定時期等	入場料金
※25年度からの継続事業 <収蔵品展> 生誕110年「小津安二郎」	4月1日～4月20日 (開館日数18日)	300円
<特別展> 「愛とブンガク」	4月26日～7月6日 (開館日数70日)	400円
<特別展>子どもたちへ、未来へシリーズ3 「西巻茅子」(仮)	7月12日～9月21日 (開館日数64日)	300円
<特別展> 生誕100年「山崎方代」(仮)	10月4日～12月7日 (開館日数62日)	400円
<収蔵品展> 「冬柏山房に集った文学者たち」(仮)	12月13日～平成27年3月31日 (開館日数89日)	300円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数合計 303日

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究事業

鎌倉ゆかりの文学者及び文学作品等について情報及び資料を収集します。資料に関しては「鎌倉文学館資料整理基準」に基づき適切な維持管理につとめます。鎌倉ゆかりの文学者及び文学作品等の調査研究を行い、その成果を図録等の刊行物として作製し市民に公開します。

- ① ゆかりの文学に関する調査研究の業務
- ② ゆかりの文学資料の収集
- ③ 所蔵資料のレプリカの製作
- ④ 図録等の作製及び頒布
- ⑤ 鑑賞動機や意向等のアンケートの実施
- ⑥ 収蔵管理システム
- ⑦ 収蔵資料の点検

(3) 芸術文化の振興に関する情報収集及び提供事業

鎌倉ゆかりの文学の情報を収集し、ホームページ等で提供します。また、収集した情報と調査研究事業の成果とあわせて、レファレンス業務に反映させていきます。

- ① 鎌倉を舞台にした文学作品の情報収集およびホームページでの情報提供
- ② 頒布の終了した図録をテキスト化し、ホームページで公開
- ③ 文学に関するレファレンス業務

(4) 芸術文化の振興に関する育成支援事業

市民が文学について理解を深め、親しみを感じられるよう、より普及事業に力を入れていきます。これまで取り組んできた文学講演会、文学講座、文学散歩などは、内容を充実させます。そして、古典講座、展示解説、資料解説講座、自作を語る、朗読ワークショップなどを実施します。また、第3回こども文学賞を開催し、全国の小中学生から詩を募集します。

事業名	開催時期等	料金等	備考
文学講演会	春・秋	無料	特別展の関連講演会。講師は遺族・作家・研究者を予定。
文学講座	春・秋	無料	文学について理解を深めるための専門家等による講座。
文学散歩	5月 11月 3月	無料	文学者、文学作品、文学碑などの文学遺跡を地域ごとに、文学館職員の解説で市内を散策する。
文学スタンプラリー	秋	無料	文学館をゴールに市内の文学ゆかりの施設をめぐるスタンプラリー。
子ども参加プログラム	夏・春	無料	親子や子どもを対象としたワークショップ等を実施。

事業名	開催時期等	料金等	備考
古典講座	秋もしくは春	無料	要望が多い古典文学の講座を実施。
展示解説	毎週土曜日	無料	展示資料や建物について職員が解説。
資料解説講座	5, 10月	無料	館収蔵資料について調査研究し、資料の背景や魅力を解説。
自作を語る	2回	無料	作家に自作を語っていただく。
朗読ワークショップ	3月	無料	朗読の楽しさを市民とともに学ぶ。
学芸員実習	8月	無料	博物館学芸員資格履修者のため実習をおこなう。
インターンシップ	8月	無料	中学生、高校生に向け職業体験をおこなう。
第3回こども文学賞	秋		小中学生から詩を募集。

・他館との連携

夏の特別展の期間中に神奈川近代文学館、世田谷文学館、町田市民文学館ことばらんどと連携し、子どもたち向けに「夏の文学館スタンプラリー」を実施します。

(5) 文化施設の管理運営事業

ホームページ、Facebookによりタイムリーな情報発信を図ります。また地域のメディア、施設へ積極的に情報提供をおこなうなど、地域と触れあう地道なPR活動により、知名度の底上げを図ります。広報宣伝活動の一環として、春と秋のバラ園の開花と、クリスマス、バレンタインの時期にあわせてイベントをおこないます。また、江ノ島電鉄と連携し、江ノフェスの参加を予定しています。資料に関しては適切な維持管理につとめ、資料および図書のデータ入力を順次進め、インターネットでのリスト公開の拡大を図ります。

① 鎌倉文学館の利用に関すること

- ア. 鎌倉文学館の利用の承認等に関する業務
- イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
- ウ. 鎌倉文学館への来館促進及び広報宣伝に関する業務
- エ. 施設案内業務
- オ. 入館者の安全に関する業務

② 鎌倉文学館の施設管理に関すること

- ア. 施設管理運営業務
- イ. 施設清掃業

- ウ. 保安警備業務
- エ. 庭園維持管理業務
- オ. 備品管理業務

- ③ 鎌倉文学館の資料に関すること
 - ア. 鎌倉文学館資料の維持管理業務

3 鎌木清方記念美術館

(1) 芸術文化の創造及び鑑賞機会の提供に関する事業

これまでの15年間に蓄積された調査結果と研究成果、およびこれまでの実績ある事業によって得られた信頼に基づき、清方と文学の関わりを中心に展示します。

当館展示事業

展覧会名	開催予定期間等	入場料
※25年度からの継続事業 ＜収蔵品展＞作品に見る清方の美意識	平成26年4月1日～4月13日 (開館日数12日) (1月31日から 開館日数62日)	200円
＜特別展＞ 鎌倉 鎌木清方の終の棲家	4月18日～5月21日 (開館日数31日)	300円
＜特別展＞ 「観る・読む・描く」鎌木清方と文学 —硯友社を中心に—	5月24日～6月29日 (開館日数31日)	300円
挿絵の描き方	7月4日～8月26日 (開館日数47日)	200円
清方 卓上芸術と秋の風情	8月30日～10月21日 (開館日数48日)	200円
＜特別展＞ 清方—大佛次郎との関わり	10月31日～12月4日 (開館日数31日)	300円
意匠化された清方の作品 —羽子板展—	12月12日～平成27年1月18日 (開館日数30日)	200円
清方の肖像画	1月23日～2月22日 (開館日数27日)	200円
清方初期の秀作と『文藝倶楽部』『新小説』の挿絵	2月27日～3月31日 (開館日数28日) (4月12日まで 開館日数39日)	200円

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

開催日数計 285日

出張展示

展覧会名	開催予定期間	入場料
佐野美術館 「鎌木清方～日本女性の美しさを描いた日本画家」	4月5日～5月11日	未定
千葉市美術館 「鎌木清方と江戸の風情」	9月9日～10月19日	未定

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

(2) 芸術文化の振興に関する調査研究に関する事業

鏑木清方が晩年に執筆した随筆『こしかたの記』の後半を読み解き叢書図録にまとめます。

事業名	内容
叢書 16 『こしかたの記』を読む(二)	鏑木清方の随筆『こしかたの記』の後半を読み解き、清方が述懐した明治から大正の画壇や当時の風情を解説

(※ 事業名および内容等は変更することがあります)

資料の公開の促進や良好な保存を行うために作品・下絵の修復事業にも力を入れ、市民の理解と共感を得られるように入場者の鑑賞意向調査等以下の事業を行います。

- ① 鏑木清方に関する専門的な調査研究
- ② 鏑木清方関係資料の収集
- ③ 鏑木清方の作品・下絵等の修復・整理
- ④ 鏑木清方図録の作製及び頒布
- ⑤ 展示鑑賞動機や意向等のアンケートの実施

(3) 芸術文化の振興に関する情報の収集及び提供に関する事業

鎌倉市鏑木清方記念美術館と鏑木清方の情報を発信し、来館のきっかけを作ります。また、より多くの媒体に取り上げられるよう、努めます。

事業名	開催予定時期	備考
鎌倉ミュージアムめぐり スタンプラリー	4月～12月	川喜多映画記念館、神奈川県立近代美術館鎌倉、鎌倉国宝館との連携事業
鎌倉の小さな美術館へ ようこそ!	夏季	北鎌倉葉祥明美術館との連携事業
清方・蓬春 連携企画	冬季	山口蓬春記念館との連携事業
鎌倉文化施設めぐり	春季	世田谷美術館との連携事業

(※ 事業名および時期等は変更することがあります)

前記の他、次の事業を行います。

- ① 広報宣伝（ホームページ、案内パンフレット配布）
- ② 企画協力、資料貸し出し協力

(4) 市民の芸術文化活動の育成及び支援に関する事業

講演会や展示解説、講座タイプの解説活動や高校生のインターンシップを実施します。また、大学院生のインターンも募集し、美術館の業務推進を図るとともに将来美術館業務に携わる世代の育成支援をいたします。また、外国語解説文の充実、及び、客員研究員、ボランティア・市民サポートスタッフと企画を考えます。

事業名	開催予定時期	受講料等
美術講演会（2回）	特別展開催時（5・11月）	500円
展示解説	毎月の第2・第4土曜日、団体は随時	無料
講座タイプの解説	随時	無料
春休み親子参加プログラム、 夏休み子ども参加プログラム（各1回）	春休み・夏休み期間中 （4月・7～8月）	未定
春休み・夏休み 親子鑑賞	春休み・夏休み期間中 （4月・7～8月・3月）	子ども・同伴者1名 無料
学芸員実習	7・8月	10,000円
インターンシップ（高校生）	7・8月	無料
インターン（大学生・院生）	随時	無料

（※ 事業名および時期等は変更することがあります）

（5）文化施設の管理運営に関する事業

鏑木清方記念美術館の施設管理、運営を行います。

- ① 鏑木清方記念美術館の利用に関すること
 - ア. 鏑木清方記念美術館の利用の承認等に関する業務
 - イ. 利用料金の徴収及び還付事務に関する業務
 - ウ. 鏑木清方記念美術館への来館促進に関する業務
 - エ. 施設案内業務
 - オ. 入館者の安全に関する業務
- ② 鏑木清方記念美術館の施設管理に関すること
 - ア. 施設管理運営業務
 - イ. 施設清掃業務
 - ウ. 保安警備業務
 - エ. 庭園維持管理業務
 - オ. 備品管理業務
- ③ 鏑木清方作品等に関すること
 - ア. 鏑木美術作品等の維持管理業務